

～美肌と健康の科学で
静岡県産素材の更なる価値創造へ～

参加費
無料
(要事前登録)

化粧品開発につながる 基礎研究フォーラム

静岡県立大学、県工業技術研究所では、静岡県の農林水産物を活用し、化粧品素材の開発や機能性に関する研究を行い、静岡県の化粧品研究開発プラットフォームの基盤を強化してきました。また、フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンターでは事業化及び販路開拓支援も行っています。この3年間の研究成果を皆様の化粧品開発のきっかけとしてお役立ていただければ幸いです。

〈開催日時〉 令和4年**3月24日(木)**13:00～16:30

〈開催方法〉 **オンライン開催 (Zoomウェビナー)** 本セミナーの録音、録画、撮影はご遠慮ください。

〈対象〉 化粧品に関心のある企業、行政、支援機関、大学、一般の方、学生、どなたでも

〈プログラム〉

13:00～	開会挨拶① 静岡県立大学 副学長 酒井 敏
13:05～	開会挨拶② 静岡県経済産業部 新産業集積課長 小笠原 彩子
13:15～	研究発表
1	微生物ライブラリーを用いたハマナスの乳酸発酵エキス 静岡県工業技術研究所 食品科 主任研究員 袴田 雅俊
2	薬剤科学的アプローチによる化粧品素材研究 薬学部 教授 尾上 誠良
3	皮膚の嗅覚受容体を標的とした香り成分の新たな機能性開拓 食品栄養科学部 助教 寺田 祐子
4	メラニン産生促進メカニズムの解析と阻害分子の探索 食品栄養科学部 准教授 三好 規之、助教 吉岡 泰淳
5	糖鎖科学を基盤とした革新的なスキンケア研究 薬学部 講師 南 彰
14:15～	休憩 (5分間)
14:20～	6 レオロジーと薬物放出制御に基づいたデンタルフロスの設計 薬学部 助教 照喜名 孝之
7	メラニン生成抑制効果を示すナノ化粧品の研究開発 薬学部 教授 浅井 知浩
8	感覚受容体を基礎とした皮膚機能・感覚を調節する成分の探索 食品栄養科学部 准教授 内田 邦敏
9	細菌由来膜小胞の炎症誘導に対する静岡県地場産品の抑制作用 食品栄養科学部 助教 島村 裕子
15:10～	休憩 (5分間)
15:15～	ディスカッション ～化粧品開発の最新の動向をふまえた未来への展望～ 福井技術士事務所 代表 福井 寛氏 某大手化粧品会社の素材開発を牽引してきた豊富な経験を基に、発表者と化粧品開発の今後の方向性についてディスカッションを行います。
16:25～	閉会挨拶 公益財団法人 静岡県産業振興財団 フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンター センター長 望月 誠

申込方法

以下のウェブサイトまたは二次元バーコードからウェビナー登録をしてください。
登録完了後に接続方法をご案内いたします。 ●登録期限/3月23日(水)

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_vU1BKs4-SI-aqkoRA-AP-Q



お問い合わせ

静岡県立大学 地域・産学連携推進室 E-mail renkei@u-shizuoka-ken.ac.jp
TEL.054-264-5124 FAX.054-264-5099